

まちづくりITSの事例(その4)

13 電子タグを活用した位置情報確認システム

運用・実験

サービス概要

子供が犯罪に巻き込まれる最近の社会情勢を反映して、児童・生徒に電子タグや携帯電話を持たせて、位置情報を確認することにより、登下校時に保護者にメールを発信したり、緊急事態を自動的に通知するシステムです。鉄道会社のICカード乗車券と連携して、学校の登下校だけでなく、最寄り駅の改札を通過した情報が保護者にメールで送られるような取組も行われています。

事例箇所

東京都品川区(防犯PHS)、東京都豊島区(立教小学校)、埼玉県さいたま市(浦和ルーテル学院)、神奈川県横浜市、京都府京都市(立命館小学校)、大阪府大阪市(見守りロボット)、大阪府吹田市(防犯ブザー付きICタグ)など

事業効果

平成17年度にサービスを提供した民間企業が行った実証実験では、コストの低廉化、誤報の防止などの課題が明らかになりましたが、防犯意識の高まりを背景にエリアの拡大やサービスの拡充を求める声も多くなっています。



立命館小学校の児童証(非接触型ICカード)

6 環境負荷の低減支援

14 エコカーの共同利用(カーシェアリング)

運用・実験

サービス概要

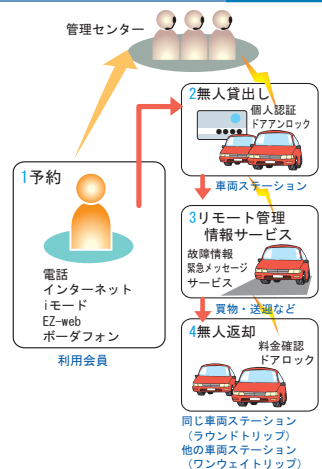
インターネット等による予約とICカードによる個人認証で、環境にやさしいエコカーを共同利用するサービスです。エコカーの貸借を無人で行うことができます。

事例箇所

愛知県名古屋市(民間会社運営)、愛知県豊田市、福岡県福岡市(NPO運営)、神奈川県横浜市、京都府京都市、東京都三鷹市 など

事業効果

交通エコロジー・モビリティ財団が行った三鷹市でのアンケート調査によれば、回答者の約60%がカーシェアリングを便利なシステムと評価しており、その大半がコスト面での負担軽減と環境への貢献を理由としています。



15 公共交通エコポイント

実験

サービス概要

鉄道・バスの利用やエコ活動などの積み重ね(ポイント蓄積)に対して、還元サービスを提供することにより、公共交通の利用促進や交通エコライフの浸透をめざすものです。

事例箇所

愛知県名古屋市

事業効果

平成17年度に名古屋市内で、愛・地球博(愛知万博)の入場券を活用して行った社会実験では、約1万3千人が参加し、CO₂換算で約372トンが削減できるという結果となりました。この社会実験は16年度にも行われており、その際のアンケート結果では、実験後の行動変化として、「公共交通の利用を増やした」「地下鉄で都心に行く回数を増やした」という声が多く寄せられました。



実験は万博入場券(ミューチップ)と駅に設置されたカードリーダーによって実施されました。

パソコンでCO₂の削減量を確認



7 都市基盤管理支援

16 電子タグを利用した駐輪場管理システム

実験

サービス概要

駐輪場の利便性向上と省力化によるコスト削減を図るため、電子タグを自転車に貼付することで、管理者が携帯端末によって駐輪場所や時間などが一括管理できるようにしたものです。

事例箇所

東京都三鷹市

事業効果

管理者にとってはコスト削減が図られ、利用者にとっては安心して駐輪場が利用できるというメリットがあります。

